

新緑随想

秋田市内の古くから栄えた
歓楽街、通称「川反(かわばた)」のはずれで「ココラボ
ラトリー(通称:ココラボ)」
というアトスペースの運営
を始めて五年がたつ。

「ココ」(coco)に、「地
域」(ここ)、「個人」(個々)、
「共同」(こし)という三つの
意味を込め、このスペースが
「それぞれが自分の得意分野
で力を出し合って、皆で地域
を充実させる実験室」となる
よう思いをのせた。ギャラリ
ースペースとして展覧会のみ
ならず、芝居や音楽ライブ、
パフォーマンスやトークイベ
ント等、ジャンルを越えた表
現活動を日常的に楽しんでい
ただけるよう、スペース提供
と企画でプログラムを構成し
ている。

田舎には無い刺激を求めて
京都の美大へ進学した私は、
都市部で育ってきた同世代と
の文化的経験値の差にショッ
クをうけた。秋田に育った自
分が触れてきたカルチャーの
絶対数は都市部の同級生のそ
れに対して随分少なかった。
地理的、歴史的格差はしかた

がないにしろ、文化の育つ
しくみを見つけて秋田で
も試してみたいと決意した瞬
間だった。

七年前に帰郷し、早速実践
してみた。しくみが、表現
する人とそれを愛して下さる
方々が集って繋がる「場」
づくりだった。関西には、ア
ーティストや文化人が集う店
やイベントが多くあり、そこ
で生まれる出会いの化学反応
により新しい文化が生まれた
り、既存の文化が成熟してい
く様子をかいま見てきた。秋

田に
帰っ
て最も問題と感じたことはそ
れで、人や情報が点々として
いて、関係性が途切れてしま
っているようだった。地元の
クリエイターもちよūdと同じ
思いでミーティングポイント
の必要性を強く感じていた。
それが私が開業を思い立った
一番の原因だったと思う。

ココラボの入り口には情報
コーナーがあり、県内外の告
知物が持ち込まれ、ポジテイ
ブな情報の集積地となってい
る。今では展覧会だけでなく
そこ目当てでいらつしやる方
も多い。五年を経て、あらた
めてこの場の存在意義につい

情報を集積、運営

—ココラボラトリー主宰—

笹尾 千草 (平成8年卒)



農家の人を招いて開いた座談会

て考えると、ココラボに蓄積
されていくあらゆる素敵な情
報が、この場や私たちスタッ
フがメディアとなることで必
要な方々のもとに届き、ささ
やかでも沢山の「動き」が誘
発されたことに大きな意味が
あったのではないかと思っ
ている。

私は、専門の美術を軸とし
ながらも、食や農業のことな
どクリエイティブに思えるこ
とならば何でも受け入れてス
ペース運営をしてきた。今で
は、ココラボを通して出会っ
たアーティストとそれらあら
ゆるジャンルの方々と一緒に
なって各地で様々な企画をし
て盛り上っている。そういつ
た個々の動きがじわじわと彫
刻のように社会のカタチを明
るく変えていく。時間をかけ
た積み重ねこそが強固で、め
まぐるしい流れの中にあつて
も着実だ。今は亡きドイツ人
アーティストのヨーゼフ・ポ
イスの言葉に「創造力こそが
人間の資本である」というの
がある。これには地方都市で
豊かに暮らす大切なメッセー
ジがまつていると思う。絶
望の中にも希望の種を見いだ
せる視点と創造力を養える場
づくりを、ココラボラトリー
の活動を通してこれからも体
現していきたい。

「ココ」(coco) = 「地域」(ここ)「個人」(個々)「共同」(こし)



太平洋山頂上鎮座

太平洋山三吉神社

宮司 田村 泰教

(昭和59年卒)

《里宮》秋田市広面字赤沼3の2
《奥宮》太平洋山頂上(標高1171m) 夏季のみ
TEL 018-834-3443
http://www.miyoshi.or.jp/



山王けやき薬品

KEYAKI

HEALTHY&BEAUTY

飯田 誠

(昭和59年卒)

秋田市山王 5-14-1
TEL 018-866-0770
FAX 018-867-0071
www.sanno-keyaki.com



えのき

こどもクリニック

小児科・アレルギー科

院長 榎 正行

(昭和49年卒)

副院長 榎 真美子

(平成3年卒)

秋田市八橋田五郎2-13-1
TEL 018-866-0505
FAX 018-866-1823

武田亨税理士事務所

所長 税理士

武田 亨

(昭和49年卒)

〒010-0041
秋田市広面字碓1番地 7
TEL 018-838-7107
FAX 018-838-7106